

# 見積書(概略)

2020年1月10日

株式会社

御中

下記の通りお見積申し上げます

受渡期日 受注後9～10ヶ月

受渡方法 機器設置引渡し

取引方法 発注時50%、現地出荷前45%

稼働時5%

有効期限 発効日より1ヶ月以内

(合)バイオ燃料

神奈川県厚木市温水476

合計金額(円、税込)			377,305,500		消費税 34,300,500
摘 要		数量	単価	金額 (税抜)	
1	プラスチック油化装置、付帯設備一式	1	264,000,000	264,000,000	
2	ディーゼル発電付帯設備 (100KW)	1	11,000,000	11,000,000	
3	設置・配管・配線費 (@10%)	1	27,500,000	27,500,000	
4	輸送費(輸入船便・陸輸送)・関税 (@5%)	1	15,125,000	15,125,000	
5	保険料 (2%)	1	6,050,000	6,050,000	
6	試運転(製造元派遣)・教育等	1	3,000,000	3,000,000	
7	建設, 土建, 系統接続費, 他(見積外)				
8	プロジェクト管理費 (@5%)	1	16,330,000	16,330,000	
9	保守部品, 保守費(見積外)				
合 計				343,005,000	

備考

- ・上記見積金額は弊社受注範囲の設備価格、及び稼働補助・教育費等を含みます
- ・廃プラ油化装置はA社製(3600トン/年)であり、原料は廃プラ (PE/PP/PS)、廃タイヤ、製品は分解油(軽油相当)及びカーボン・ブラック (CB)を製造します
- ・油化装置への原料投入は原料フィーダーにより行い、油化装置は連続自動化です。廃プラ類に加え、廃タイヤの油化も、別々のブロック運転が油化可能です
- ・廃プラはチップ状25mm以下とし、廃タイヤも同一サイズ、スチール除去
- ・本油化装置は、単なる熱分解ではなく触媒分解法の油化装置です。触媒により軽油留分を多く取り出せます(触媒2種類使用、触媒費10円/L程度)
- ・分解油の収率は、分解試験(有料)での確認が必要ですが、概略、廃プラ類12トン/日に対し、分解油8,400L/日～10,800L/日、C. B. 600～960Kg/日、廃タイヤ12トン/日に対し、分解油4,800L/日～5,400L/日、C. B. 3,600～4,200Kg/日を製造できます
- ・分解油はボイラー燃料なら100%で使用可能です。ディーゼル建機、発電機(CHP)の燃料用途では30～50%以下とし、他に軽油、バイオ油/BDF等とのブレンド燃料油を使用します
- ・ディーゼル発電機(CHP)設備は、別と見積可能です(ブレンド油で約4.5KWh/L発電)
- ・現地荷下ろし重機、作業員補助人工、分電盤等は顧客側で準備下さい

- ・現地出荷1年後,稼働1500時間経過後迄は、原則無償保証です  
その後の保守費は、別と御社の保守対応作業のご要望(予防・故障時)を  
考慮致します
- ・設備設置面積(屋内)は500~600m<sup>2</sup>程度を想定しています。  
建屋の天井高さは10m強が必要です(下記添付図参照)

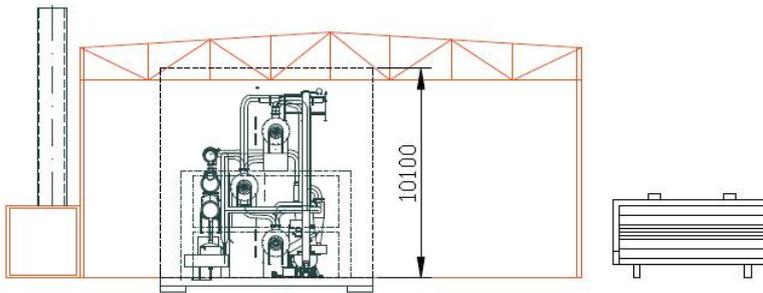
以上

### 1. 油化装置(インド製A社の例)

他に欧米製もありますが、価格は2~4倍します。



### 2. 油化機(建屋天井高さ)



以上